

2023年4月16日

主日礼拝

《礼拝》

礼拝讃美歌⇒173番（旧267番）（SK姉）

『小羊イエス』

聖書⇒ルカによる福音書 24:44~48、50~53節（MM姉）

『イエスは言われた。「わたしについてモーセの律法と預言者の書と詩編に書いてある事柄は、必ずすべて実現する。これこそ、まだあなたがたと一緒にいたころ、言っておいたことである。」そしてイエスは、聖書を悟らせるために彼らの心の目を開いて、言われた。「次のように書いてある。『メシアは苦しみを受け、三日目に死者の中から復活する。また、罪の赦しを得させる悔い改めが、その名によってあらゆる国の人々に宣べ伝えられる』と。エルサレムから始めて、あなたがたはこれらのことの証人となる。』

イエスは、そこから彼らをベタニアの辺りまで連れて行き、手を上げて祝福された。そして、祝福しながら彼らを離れ、天に上げられた。彼らはイエスを伏し拝んだ後、大喜びでエルサレムに帰り、絶えず神殿の境内にいて、神をほめたたえていた。』

礼拝讃美歌⇒193番（旧298番）

『われらの住まいは』

聖書⇒マタイによる福音書 9:35~36節（SK兄）

『イエスは町や村を残らず回って、会堂で教え、御国の福音を宣べ伝え、ありとあらゆる病気や患いをいやされた。また、群衆が飼い主のいない羊のように弱り果て、打ちひしがれているのを見て、深く憐れまれた。』

聖書⇒マタイによる福音書 26:36~39節

『それから、イエスは弟子たちと一緒にゲツセマネという所に来て、「わたしが向こうへ行っている間、ここに座っていなさい」と言われた。ペトロおよびゼベダイの子二人を伴われたが、そのとき、悲しみもだえ始められた。そして、彼らに言われた。「わたしは死ぬばかりに悲しい。ここを離れず、わたしと共に目を覚ましていなさい。」少し進んで行って、うつ伏せになり、祈って言われた。「父よ、できることなら、この杯をわたしから過ぎ去らせてください。しかし、わたしの願いどおりではなく、御心のままに。』

（祈り）

聖書⇒イザヤ書 25:6~8 節 (ES 姉)

『人々が深い御恵みを語り継いで記念とし／救いの御業を喜び歌いますように。

主は恵みに富み、憐れみ深く／忍耐強く、慈しみに満ちておられます。

主はすべてのものに恵みを与え／造られたすべてのものを憐れんでくださいます。

主よ、造られたものがすべて、あなたに感謝し／あなたの慈しみに生きる人があなたをたたえ

あなたの主権の栄光を告げ／力強い御業について語りますように。

その力強い御業と栄光を／主権の輝きを、人の子らに示しますように。

あなたの主権はとこしえの主権／あなたの統治は代々に。』

聖書⇒ヨハネによる福音書 20:19~22 節

『その日、すなわち週の初めの日の夕方、弟子たちはユダヤ人を恐れて、自分たちのいる家の戸に鍵をかけていた。そこへ、イエスが来て真ん中に立ち、「あなたがたに平和があるように」と言われた。そう言って、手とわき腹とをお見せになった。弟子たちは、主を見て喜んだ。イエスは重ねて言われた。「あなたがたに平和があるように。父がわたしをお遣わしになったように、わたしもあなたがたを遣わす。」そう言ってから、彼らに息を吹きかけて言われた。「聖霊を受けなさい。』

(祈り)

《パン裂き》

聖書⇒コリントの信徒への手紙一 11:23~26 節 (KH 兄)

『わたしがあなたがたに伝えたことは、わたし自身、主から受けたものです。すなわち、主イエスは、引き渡される夜、パンを取り、感謝の祈りをささげてそれを裂き、「これは、あなたがたのためのわたしの体である。わたしの記念としてこのように行いなさい」と言われました。また、食事の後で、杯も同じようにして、「この杯は、わたしの血によって立てられる新しい契約である。飲む度に、わたしの記念としてこのように行いなさい」と言われました。だから、あなたがたは、このパンを食べこの杯を飲むごとに、主が来られるときまで、主の死を告げ知らせるのです。』

(式)

礼拝讃美歌⇒148 番

『主の御旨により』

《建徳》

聖書⇒ヨハネによる福音書 10:10~11 節 (KH 兄)

『盗人が来るのは、盗んだり、屠ったり、滅ぼしたりするためにほかならない。わたしが来たのは、羊が命を受けるため、しかも豊かに受けるためである。わたしは良い羊飼いである。良い羊飼いは羊のために命を捨てる。』

聖書⇒ヨハネの手紙一 3:15 節

『兄弟を憎む者は皆、人殺しです。あなたがたの知っているとおりに、すべて人殺しには永遠の命がとどまっています。』

聖書⇒ヨハネの手紙一 5:11~13 節

『その証しとは、神が永遠の命をわたしたちに与えられたこと、そして、この命が御子の内にあるということです。御子と結ばれている人にはこの命があり、神の子と結ばれていない人にはこの命がありません。神の子の名を信じているあなたがたに、これらのことを書き送るのは、永遠の命を得ていることを悟らせたいからです。』

礼拝讃美歌⇒355 番 (旧 304 番)

『主はいのちを』

聖書⇒ヨハネによる福音書 3:16~17 節 (TM 兄)

『神は、その独り子をお与えになったほどに、世を愛された。独り子を信じる者が一人も滅びないで、永遠の命を得るためである。神が御子を世に遣わされたのは、世を裁くためではなく、御子によって世が救われるためである。』

聖書⇒ヨハネによる福音書 15:12、17 節

『わたしがあなたがたを愛したように、互いに愛し合いなさい。これがわたしの掟である。

互いに愛し合いなさい。これがわたしの命令である。』

《建徳要旨》